

まちみらい ニュース News

Vol.129

編集 公益財団法人まちみらい千代田
〒101-0054 千代田区神田錦町3-21
ちよだプラットフォームスクウェア4階
TEL3233-7555(代) FAX3233-7557
http://www.mm-chiyoda.or.jp/

まちみらい千代田 公式フェイスブック
https://www.facebook.com/pages/公益財団法人まちみらい千代田/432697173544316

まちみらい千代田 公式ツイッター
https://twitter.com/MMChiyoda

第15回千代田まちづくりサポート 14団体が中間発表会 活動成果発表会は平成28年3月5日(土)に開催



▲中間発表会の様子

市民の自主的なまちづくり活動を支援する「第15回千代田まちづくりサポート」中間発表会が11月28日(土)に開催されました。
6月の公開審査会で助成決定を受けた14団体が、これまでの活動内容を報告し、問題点や課題などに対して審査委員の適切なアドバイスや激励の言葉を受けました。
なお、活動成果発表会の開催は平成28年3月5日(土)を、また新年度「第16回千代田まちづくりサポート」エントリー募集は4月下旬を、それぞれ予定しています。
14団体のこれまでの主な活動は次のとおりです(当日発表順)。

【一般部門】

- (1) みんなでつくるまちづくり推進協議会「ユニバーサルデザインに関する勉強会やフィールドワークを実施。」
- (2) 東京高架下軌道「ここに電車(ミニトレイン)運転イベントや勉強会を開催。」
- (3) 神田暮らし探検隊「神田多町二丁目「神田暮らし調査」と超多町探検を実施。」
- (4) 神保町映画祭実行委員会「第一回神保町映画祭」を開催(2日間、3会場。延べ405人を動員)。
- (5) 神田一八エリア振興会「毎月定期的に「ハマルシェ」を開催中。多世代交流企画も実施。」
- (6) On Any Sunday「ものづくり」や「表現活動」による地域活性化イベントを開催。
- (7) ユメラボ「お茶の水茗溪通り商店街で屋根付ワゴンによる社会実験を実施中。」
- (8) 神保町コミュニティプラザ+

まちみらい千代田 事業報告会を開催

日時 平成28年2月5日
(金)午後4時
場所 プラットフォームスクウェア5階

内容 講演と事業実施状況報告(詳細は、当ニュース1月20日号に掲載いたします)
問合せ・申込み
企画総務グループ
☎ 3 2 3 3 1 7 5 5 6
✉ info@mm-chiyoda.or.jp

※この報告会は賛助会員向けですが、どなたでも参加できます。電話かメールで事前にお申込みください。

ビジネス法律相談(無料)

今回は1月15日(金)です!
(来月は第3金曜日です)

まちみらい千代田では、毎月第2金曜日に千代田区内の中小企業のためのビジネス法律相談を実施します。完全予約制となっていますので、まずは、お電話にてお問合わせください。

日時 1月15日(金)

①13時~②14時~③15時~※1回45分

場所 千代田区神田錦町3-21

ちよだプラットフォームスクウェア

申込

- ・お電話にて予約状況をご確認ください。
- ・実施日の2日前の正午までにご予約ください。
- ・相談内容は、ビジネス法律相談に限ります。

問合せ 産業まちづくりグループ

☎ 3 2 3 3 - 7 5 5 8

共立女子大学神保町Neo

- 神保町の情報発信基地を目指して、「コミュニティカフェ」や「ガイドツアー」を実施。
- (9) チェリンピック「ちよだ実行委員会」神田スポーツ祭り「会場内で子どもの出合いの場、チルリンピックを開催。」
- (10) NPO都市住宅とまちづくり研究会「神田東松下町で地域交流の場実現のため、検討会や見学会を実施中。」
- 【テーマ部門】
- (11) 千代田まちづくりサポート「ターズ・ネオ」各活動への参加や助言、ヒアリングの実施。
- 【はじめて部門】
- (12) クリーンネイバーフッド千代田を目指す会「エコまちツア」を実施。千代田区「エコ&サイクルフェア」に出展。
- (13) リーブ・ウィズ・ドリーム「アクセシビリティイーターポ」発行をテーマに利用対象者や店舗にアンケートを実施中。
- (14) 文人通りランチ会「番町・麹町地域の交流の場提供をテーマにランチ会を開催。」

問合せ
まちづくり推進担当
☎ 3 2 3 3 1 7 5 5 6

『第8回千代田ビジネス大賞』 エントリー企業紹介(第2回)

問合せ 産業まちづくりグループ ☎ 3 2 3 3 - 7 5 5 8

株式会社新京清堂

代表取締役社長 吉田道生

●製造卸 ●文化伝統部門

当社は、太古の昔から扇(扇子)に託された先人の想いを引き継ぎ、今に生きる扇(扇子)を愚直に作り続けています。

http://kyoseido.co.jp/

株式会社バイオレンジャーズ

代表取締役社長 鴻野雅一

●卸売業 ●環境貢献部門

弊社の微生物製剤オッペンハイマー・フォーミュラは、油やVOCを効果的に分解し、既に400件以上の土壌・地下水汚染対策に採用されています。バイオ洗浄化のプロとして、今後も油やVOCの浄化に取り組みます。

http://www.bri.co.jp/

株式会社エナジービジョン

代表取締役 奥山恭之

●太陽光発電O&M ●ニュービジネス部門

太陽光発電は「メンテナンスフリー」というのは完全な誤解です。長期間安心して発電するためには、適切なメンテナンスが必要です。弊社では、ローコストかつ信頼性の高いメンテナンスを全国対応でご提供します。

http://www.energyvision.tv/

エニカ株式会社

代表取締役 戸矢雅道

●紙卸売、印刷業 ●経営革新部門

当社はコンピューター用紙印刷からスタートし、現在は全国の国民健康保険証の台紙を販売しています。自社開発の特殊なプリンタ用紙やカード台紙を製造販売し、65件(出願含む)の特許や実用新案を保有して大企業に負けずに活動しています。

http://www.enica.co.jp/

株式会社テレワークマネジメント

代表取締役 田澤由利

●コンサルティング業 ●経営革新部門

日本初の「テレワーク専門」コンサルティング会社。テレワークによる企業メリットを自ら実証、小企業ながらもビジネス激戦区に機能的な省スペースオフィスの設置に成功しました。テレワークが弊社の「経営戦略」の肝です。

http://www.telework-management.co.jp/

株式会社デイドリーム・ビリーバー

代表取締役 箕田圭一

●広告・コンサルティング業 ●ユニーク部門

当社はパチンコ業界に特化した広告会社として設立。現在は、パチンコ店を中心にアルバイトの採用活動や人材育成にも携わっています。育児・介護の両立問題に注目し、誰もが働きやすい環境づくりを提案しています。

http://www.dd-b.jp/

ゴーウェル株式会社

代表取締役社長 松田秀和

●通訳翻訳業 ●国際貢献部門

ゴーウェル株式会社は東南アジア語(タイ、ミャンマー、インドネシア、ベトナム)に特化した通訳翻訳サービスを展開。600名以上の東南アジア語のエキスパートが登録しており、年間700社以上の実績があります。

http://www.gowell-thai.com/

株式会社シンカ

代表取締役 江尻高宏

●IT業 ●経営革新部門

日本の文化とも言えるおもてなし精神を電話で実現するクラウドCTI「おもてなし電話」を提供しているベンチャー企業です。月額1万円で利用でき、顧客満足を重視する中小企業や街のお店でご利用いただいております。

http://www.thinca.co.jp/

富士ネットワーク株式会社

代表取締役社長 藤井裕志

●ソフトウェア開発、技術者派遣業

●ワークライフバランス部門
弊社社員のおよそ11.4%は3歳未満の子供を持つ子育て世代。近年では3名の社員が出産、育児休暇を取得しています。そのような社員が家庭と仕事を両立できるよう時短勤務等を取り入れ、配属調整を実施しています。

http://www.fujinetworks.co.jp

千代田ビジネス大賞受賞企業訪問 筆耕の弘周舎

「第5回千代田ビジネス大賞」(平成24年度)にて千代田区長賞を受賞した株式会社弘周舎(千代田区神田鍛冶町3-5-2)の申山弘子社長にお話を伺いました。



護を必要とする方やその家族の方々の不安や負担を少しでも軽くするお手伝いができないかと考えて介護事業に着手しました。



—これからの弘周舎について—

「この業種の現状はいかがですか?」時代の流れとともにますます希少価値が上がってきている業種です。特に近年は温かみのある手書きのニーズが増えてきています。

また当社では既存の筆耕事業に加えて来年度より介護事業を展開する予定です。

「なぜ、介護事業をされようと思ったのですか?」

日本の高齢化傾向に向き合い、社会を構成する一員として見過ごすことができないと考えたからです。今後、より高齢化社会が進み、介

護は筆耕とはまったく異なる事業ですが、お客様を大切にするという部分では一緒です。弘周舎は「すべてはお客様のために」という企業理念の下、従業員一同総力を挙げてやってまいりました。これは、介護事業に一番大切なことだと思います。お客様のニーズを的確に把握し、介護を受ける方に最良のサポートをしていきたいと思っております。

株式会社弘周舎 ☎3252-2625
URL: https://koshusha.co.jp/
問合せ 産業まちづくりグループ ☎3233-7558

月刊千代田まちづくりサポート通信

《活動グループクローズアップ!》

神田一八エリア振興会(堀川範人代表)



このエリアが「青物市発祥の地」であり、そのにぎわいの復活を目指して、月1回「一八」の18日(土日祝の場合は8日か28日)に、「食」をテーマとしたイベント「一八マルシェ」を開催しています。この半年間で5回、開催しました。

定期的開催を重ねていく中で、街の方々とお話ができるようになり、

「ポスターをうちに貼りなさいよ!」、「今度はうちの軒先でやったら!」、「次はいつなの?」等、あたたかいお言葉をかけていただけるようになりました。

マルシェには、地域住民の皆様、マンション住民の皆様、このエリアの飲食店の皆様、企業の皆様等、のべ500名以上の方に訪れていただき、産地直送の新鮮な野菜を購入していただきました。その輪は少しずつではありますが、広がっている!と感じています。

今回は、1月18日(月)開催予定です。

問合せ まちづくり推進担当 ☎3233-7556

マンション無料相談窓口開設中!

日時	月曜日～金曜日 (土日祝を除く) 午前9時から午後5時 (受付は4時まで)	予約	事前に日時・内容をお知らせください。よりの確なご相談ができます。 なお、個人情報が公開されることはありません。
場所	千代田区神田錦町3-21 まちみらい千代田	問合せ	住宅まちづくりグループ ☎3233-3223
対象	千代田区内のマンション 居住者及び所有者		

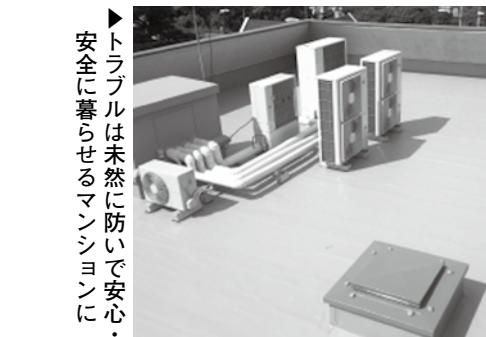
マンション相談員連載コラム

マンションの漏水対策で以前、給排水管等設備の不備が原因で発生する漏水対策を掲載しました(平成27年9月20日号)。今回は、雨水等による屋上・外壁・排水溝等の建物の不備が原因で発生する漏水の対応について考えます。

この様な時は、原因究明や修繕に多額の費用と労力を要します。調査のためには建物に放水するなど、雨降りを再現して調べることとなります。また、屋上の防水工事は、床をはつるなどの大掛かりな対応を強いられる場合があります。そのような対応には経費がかかり、修繕積立金を取り崩す場合が有ります。

マンション よ・も・や・ま・話 第14回 「雨漏り」漏水対策(2)

区分所有者は専有部分内の点検やマンションの法定点検・そして建物設備の定期点検に協力する事が必要です。専有部分に入らなければ作業できない排水管洗浄や消防設備の定期点検等にも積極的に協力し、自らも部屋の異変に注意し点検をする事がトラブルを未然に防ぐ一歩です。



▶トラブルは未然に防いで安心・安全に暮らせるマンションに

「終の棲家」として、安心・安全に暮らせるようなマンションを皆で協力して作っていきましょう。
マンション管理士 鈴木 信一
問合せ 住宅まちづくりグループ ☎3233-3223

連載「がんばる中小企業応援レ」コラム「企業の社会価値を高める」 第6回「クラウド型会計システム」を活用して企業の経理処理を省力化・自動化する

中小企業診断士 三浦 英品

会計処理を自社で行っている企業、会計事務所にお任せしている企業、基本的な処理のみ自社で行っている企業など、皆様はさまざまな方法で日頃の会計処理(税務署等への申告)を行われていることと思います。昨今、「クラウド型会計システム」がこれまでに増して加速的に進化してきています。これを活用することで、処理の省力化・自動化、見積書・請求書発行機能との連動、給与計算機能との連動などが、スピーディーに、しかも安価に行えるようになってきています。

「クラウド型会計システム」は、パソコンなどにインストールして使用するのではなく、Webブラウザ(インターネットエクスペローラ、インターネットクロムなど)で所定のページにアクセスし、IDとパスワードでログインすることで使用する会計システムです。現在話題になっており、シェアを伸ばしている代表的なものには、以下のようなシステムがあります。

- 1.クラウド型会計システムとは
 - 「クラウド型会計システム」は、パソコンなどにインストールして使用するのではなく、Webブラウザ(インターネットエクスペローラ、インターネットクロムなど)で所定のページにアクセスし、IDとパスワードでログインすることで使用する会計システムです。現在話題になっており、シェアを伸ばしている代表的なものには、以下のようなシステムがあります。

- (1)使用料が安価である。
- (2)さまざまなデバイスで使用できる。
- (3)複数の拠点で使用できる。
- (4)常に最新版へ自動更新されている。
- (5)仕訳処理が省力化・自動化できる。
- (6)簿記の知識がなくても仕訳処理を行うことができる。
- (7)他社のシステムとの連携がしやすい。
- (8)セキュリティの信頼性に疑問が残る。

行い、自動仕訳機能を最大活用することで入力の手間を最小限に抑える。
◎経理に結びつく業務にもクラウド型会計システムと連動できるシステムを活用することで入力の手間を最小限に抑える。
興味を持っていただければ、是非「クラウド型会計システム」の詳細をチェックしてみてください。
※このコラムの全文は千代田デザイン「中小企業応援レ」コラムに掲載されています。
URL: http://www.mm-chi-yoda.or.jp/column/relaycolumn
問合せ 産業まちづくりグループ ☎3233-7558